

様式

技術名称	リソイルPro(リソイルプロ)工法	技術の分類	環境	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	無
会社名等	株式会社不動産テトラ	担当者	木下 洋樹	連絡先	052-385-0803
技術の概要	「リソイルPro 工法」は、建設現場で発生する土(建設発生土)を地盤改良工事に活用する工法である。 本工法は、施工機に新たな材料供給システムを導入することによって、発生土の改質※)を必要とせず、サンドコンパクションパイル工法の中詰め材料としてそのまま利用できる範囲を拡大したものである。 本工法の適用によって、サンドコンパクションパイル工法(当社商品名:SAVE コンポーザー)での中詰め材料の搬入や発生土の搬出といった運搬・処分に関わる環境負荷、砂という自然材料の採掘による環境負荷を低減し、コストダウンも図ることが可能となる。 (※)改質とは、建設発生土にセメント、石灰、礫材などを混ぜて性状を変えることを指します)	対象者	☒ 国土交通省職員 ☒ 港湾管理者 ☒ 一般(施工業者・コンサルタント等含む)		
		添付資料	パンフの有無	無	
			その他の資料	技術開発レポート	
技術の特徴	①新たな材料供給システム SAVE コンポーザー施工機に装備された砂投入バケット・砂受けホッパー・砂通過ケーシングを改善した材料供給システムによって、材料通過性(材料が詰まらずに装備内を通過する性能)が向上する。 ②建設発生土を改質せず適用できる範囲が拡大 建設工事で発生する土砂(建設発生土)は、改質すれば地盤改良材として利用可能となるケースもあったが、本工法に装備した新たな材料供給システムを用いることで、改質せず適用できる材料の範囲が広がった。 ③環境負荷低減 中詰め材料搬入と発生土搬出の工事車両の台数が激減し、貴重な自然材料である山砂や海砂を採取する量が削減できる。 ④現場発生土使用によるトータルコストダウン 現場発生土の使用に伴う施工サイクル低下の可能性はあるが、良質材料の購入費用と発生土の運搬処分費に加え、改質に必要であった設備と時間、人員の削減効果が大きく見込まれるため、従来工法と比較してコストダウンできる。 ⑤改良効果 静的締固め砂杭工法(SAVEコンポーザー)と同レベルの液状化対策効果を有する。	その他			

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。